

標的

九条の会・流山 映画上映会

日時： 12月8日(日)
13:30開場 14:00開会

場所： 流山市生涯学習センター
つくばエクスプレスセントラルパーク駅徒歩5分
C401会議室

参加費： 500円 学生・18才以下無料



あらすじ
朝日新聞記者の植村隆は一九九一年八月、元慰安婦だった韓国女性性の証言を伝えるスクープ記事を書く。その記事には「女子挺身隊の名で戦場に連行され、日本軍人相手に売春行為を強いられた」とある。報道から二十三年後の二〇一四年、記事の内容を巡って植村を「捏造記者」とするバッシングが始まる。攻撃は次第にエスカレートし、植村が教職に就くことが内定していた大学や植村の家族までもが卑劣な脅迫にされされる。
バッシングの旗振り役は右翼論客の西岡力と櫻井よしこ。その背後には慰安婦問題を歴史から消し去ろうとする安倍晋三総理(当時)の思惑があった。安倍総理は慰安婦の記述を歴史教科書から削除しようとした。
国家権力は不都合な過去を都合のいいように書き換える。そのためにメディアと教育に圧力をかける。こうした「歴史修正主義」に対して、多くの市民や弁護士が、反対の声をあげた。



主催 九条の会・流山

(HP) <http://nagareyama9jou.g2.xrea.com/>

(連絡先) 石林紀四郎(04-7154-7511)
三原 真子(04-7152-6559)

(Mail) nagareyama9@outlook.jp